

地下タンクにかかる土壌調査の結果について

米子市総務部総務管財課

地下タンクの土壌へのA重油の漏洩調査を専門業者に委託し、地下タンク周囲4方向の土壌(地下約3m タンク基礎面および地下水位面0.9m付近の2点 計8点)を採取し、油膜・油臭調査を行いました。

A重油の成分の9割を占める軽油の成分のうち最も高い含有率を示すキシレンを判定基準として油分分析をしましたが、定量下限値以下でした。

しかしながら、タンク南側(ボイラー室側)、西側(センター側)の調査土壌2点(地下水位)で油膜・油臭が確認されました。

このうちのタンク南側(ボイラー室側)の油膜・油臭について、TPH試験法により油種分析をした結果、軽油または重油であることが確認できました。

このことから地下タンクまたは配管からA重油が漏れていた可能性は否定できませんが、油膜・油臭は土壌汚染対策法において有害物質ではないとされていることから、問題ないと判断します。